



# もうひとつのおうち八雲

## 支援プログラム

作成日：2025年4月1日

<p><b>法人理念</b></p>	<p>やさしさの中で育つ 楽しさの中で学ぶ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ご家族みんなが安らげる「もうひとつのおうち」であること</li> <li>2. 子育ての中での喜びや不安を共有できる「つながり」を作ること</li> <li>3. 子ども同士が「ともだち」になれる遊び場を提供すること</li> <li>4. 日常生活の中での自立を目指した工夫を「いっしょ」にすること</li> <li>5. 子どもたちのこれからを考えた「おべんきょう」の提案をすること</li> </ol>		
<p><b>支援方針</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. せんせいを自分をありのまま愛してくれる存在と感じ、何があっても守ってくれると信頼することができるよう、就学まで持ち上げのチームで担当します。</li> <li>2. 保育所保育指針・幼稚園教育要領に記されたねらいを通じて、幼児期の終わりまでに「10の姿」が育つよう、保育士を中心にプログラムを構成し、グルーブレスンと個別レッスンを組み合わせて提供します。</li> <li>3. 標準化されたアセスメントを定期的実施し、各領域のニーズを把握した上で、チームで個別支援計画を作成します。この個別支援計画を基に、保育士が作成する年間カリキュラム、月案、週案、日案に、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、公認心理師がそれぞれの専門領域のニーズを織り込みます。</li> <li>4. 保育所等訪問支援は通所支援の担当者が行い、お父さまが所属する集団でも「らしさ」を大切に、安心して過ごせるように環境調整や関わりの工夫について先生方と話し合います。</li> <li>5. ご家族同士のつながりが深まるように、教室ごとにてできる限り学年を揃え、子育てについての不安や喜びを共有できるコミュニティとなるよう支えます。</li> </ol>		
<p><b>営業時間</b></p>	<p>月曜日～土曜日(祝日を含む) 9:30～13:00、14:00～17:00</p>	<p><b>送迎の有無</b></p>	<p>無 他社のシッターサービス利用の場合は事前面談が必要</p>
<p><b>サービス提供時間</b></p>	<p>月曜日～土曜日(祝日を含む) 9:30～13:00、14:00～17:00</p>	<p><b>移行支援</b></p>	<p>通所支援のリーダー的職員が行う園や学校への保育所等訪問支援を通じて、お父さまの得意なことや強みを活かした関わり方を考えます。苦手なことについては、どのような配慮が有効かを訪問先の先生方と話し合いながら支援します。就園・就学先に関するご相談にも対応し、ご希望があれば「就学支援シート」を作成して、お父さまの発達状況や安心して生活できる配慮について丁寧にお伝えします。</p>
<p><b>家族支援</b></p>	<p>レッスンごとに口頭でフィードバックを行い、サービス提供記録をご家族と共有します。また、ご家族から寄せられた関心や悩みに応じて座談会を開催し、ペアレントトレーニングなどの学びの機会を提供します。</p> <p>週1回の成長記録や月1回程度の個別面談を通じて、ご家庭での取り組みを支援します。面談では子育てに関するだけでなく、きょうだい児との関係やご両親のパートナーシップについてのご相談も受け、生活リズムや関わり方を一緒に見直していきます。</p>	<p><b>職員の質の向上に資する取り組み</b></p>	<p>毎日の振り返りや週1回の事業所内会議、毎月の専門部会を通じて、支援内容の質を高めています。教室長との定期的な面談では、それぞれの職員の目標と成長を確認しながらサポートしています。また、BCBA(行動分析士)による事例検討会や研修を行い、JASPER、ESDM、PECSなどの外部研修にも積極的に参加しています。学んだ内容は報告会を通じて全体に共有し、チーム全体でのスキル向上を図っています。</p>
<p><b>地域支援</b> <b>地域連携</b></p>	<p>目黒区の自立支援協議会や通所支援事業所連絡会に参加し、地域とのつながりを深めています。幼稚園や保育園、学校と連携し、地域の中でお父さまとご家族が安心して生活できるよう支援します。</p> <p>また、健診でのスクリーニングツール(M-CHAT)の活用を進め、地域の医療機関と情報共有を行っています。地域の保育園や学校に向けた研修の実施、公園やお店での活動を通じた地域交流にも取り組んでいます。</p>	<p><b>職員の質の向上に資する取り組み</b></p>	<p>毎日の振り返りや週1回の事業所内会議、毎月の専門部会を通じて、支援内容の質を高めています。教室長との定期的な面談では、それぞれの職員の目標と成長を確認しながらサポートしています。また、BCBA(行動分析士)による事例検討会や研修を行い、JASPER、ESDM、PECSなどの外部研修にも積極的に参加しています。学んだ内容は報告会を通じて全体に共有し、チーム全体でのスキル向上を図っています。</p>

### 主な行事

4月	5月	6月	7月	8月	9月
入園式	端午の節句・母の日・遠足	父の日	七夕・夏祭り	お盆	お月見・敬老の日・運動会
10月	11月	12月	1月	2月	3月
ハロウィン	七五三・芋掘り	クリスマス・大掃除	初詣	バレンタイン・遠足	ひな祭り・進級式

### 支援目標(5領域)

5領域	支援内容	主担当
健康・生活	毎日の暮らしの中で、少しずつ「自分でできること」を増やしていきます。靴の履き替えや洋服の着脱、トイレの使い方や手洗いなど、基本的な生活スキルを一つひとつ丁寧に経験します。やってみたい気持ちを大切にしながら、「自分でできた」と感じられるようなサポートを心がけ、できたときの達成感と喜びを一緒に感じます。必要などきは安心して手助けを求めつつも、自分の力でできることが増えていく喜びを積み重ねます。	保育士 作業療法士
運動・感覚	大きく体を動かして遊んだり、手先を使ってじっくり取り組んだり、子どもたちが自分の感覚を十分に使って過ごせるように環境を整えます。ジャンプしたり、バランスを取ったりする中で、自分の体の使い方を少しずつ身につけていきます。触る・見る・聴く・嗅ぐといった五感への刺激も取り入れながら、子どもたちが「気持ちいい」「おもしろい」と感じる体験を大切にします。	作業療法士 理学療法士
認知・行動	「なんで?」「どうして?」という子どもたちの興味や好奇心を大切にしながら、見る・聞く・比べる・覚えるといった力を育てていきます。色や形、数や順番など、身近なテーマをもとに遊びの中で楽しく学ぶよう工夫します。また、困ったときの対応や気持ちの切り替え方など、生活の中で必要な「考える力」や「行動を整える力」も、丁寧に寄り添いながら育てていきます。	公認心理師 言語聴覚士
言語・コミュニケーション	「わかってほしい」「伝えたい」という思いを、子どもたちが自分なりの方法で表現できるように支援します。ことばや身振り、絵カードなどを使って、自分の気持ちや考えを少しずつ相手に届けられるようになります。楽しいやりとりの中で、聞く力や理解する力も育みます。大好きな人と心が通じ合う経験を重ねながら、ことばの世界が自然に広がっていくようにサポートします。	保育士 作業療法士
人間関係・社会性	安心できる大人との関係を土台にして、お友だちと関わる楽しさを感じていきます。いっしょに笑ったり、同じ遊びを楽しんだりする中で、「誰かといるとってうれしいな」という気持ちが育っていきます。順番を待つ、貸し借りをし、ルールのある遊びを楽しむなど、集団の中でのやりとりも、ひとつずつ経験していきます。小さな成功や心の通じ合いが、子どもたちの自信となるように支えていきます。	保育士 公認心理師